

網走養護学校だより



平成26年度
第2号
(通巻167号)
6月20日発行
発行責任者
校長:安戸 岳夫
TEL 0152-48-2137



運動会を終えて



6月7日土曜日、第41回運動会を無事に開催することができました。今年度は、気温も高く猛暑日に近い天候の日もありましたが、当日は曇りの天気予報が出ていたため、多少の不安を抱えながらも当日を迎えました。当日は少し風が強い時間帯もありましたが、全体的には晴天に恵まれた運動会となりました。そんな中、児童生徒達は、「ファイト!さいごまであきらめない!」のスローガンのもと、自分の力を発揮しようと本当に頑張っていました。各学部の種目では今までの練習期間を通して頑張ってきたことが一目でわかるような表情や動きが観客の方々にも伝わったのではないのでしょうか。今年度は白組の優勝で幕を閉じましたが、紅白ともにどちらが優勝してもおかしくない結果だったと思います。

当日ボランティアとして進行のお手伝いをしてくださった方々、温かいご声援や拍手を送り続けてくださった保護者や地域の皆様方には、本当に感謝しております。今後も網走養護学校の教育活動へのご協力をよろしくお願い致します。(文責:山本)

小学部



中学部



高等部



玉入れ





交通安全教室



5月21日に網走市と呼人地区の交通安全指導員の方4名と呼人駐在所警察官の方1名をお迎えし、交通安全教室を実施いたしました。体育館で模擬信号機と横断歩道を使って歩き方を確認したり、児童生徒会が作成した交通安全ビデオを見たりするなどしました。その後、校外にて、指導員や警察官の方が見守る中、実際の手押し信号のある歩道を渡りました。児童生徒の皆さんは、事前に教わった通り左右をしっかりと確認して渡ることができました。指導員の方からもお褒めの言葉を頂くことができました。

その後の登下校では、教わったことを生かし、「右見て、左見て、右見て。」と声を出して確認する児童生徒の姿もありました。これから暖かくなり、外で活動することも増えることと思います。学習したことを忘れずに生活に生かしていけることを願っています。

(文責：山岡)



東藻琴高校との交流

5月30日(金)初夏を感じる好天の中、東藻琴高校との交流が行われました。オープニングは養護学校高等部の生徒が司会をし、和やかに進行しました。東藻琴高校生による学校紹介は、スライドを使ってとてもわかりやすかったです。それぞれが気持ちを込めて作った名札を交換した後、クラスに分かれて交流しました。交流では、東藻琴高校生の指導のもと、協力して苗を運び、丁寧にプランターや畑に植えました。あちこちでみんなの笑顔が見られ、とても楽しい時間を過ごすことができました。最後に東藻琴高校生が企画したクイズを行いました。養護学校児童生徒のことを考えながら進行する様子に、温かさを感じました。

帰る際には、「玄関まで車椅子を押させてください。」と別れを惜しむ東藻琴高校生がいました。交流の仕方は様々でしたが、それぞれの心に確かに残る素晴らしい会になりました。

(文責：黒川)



<編集後記>

6月になりましたが、今年はなかなか暑い日が続かないですね。暑い夏はいつになったらやってくるのかと少し心配になりますが、網走養護学校では、日々児童生徒達の笑顔や元気に活動する姿が溢れています。一学期も終わりが近づいていますが、児童生徒達の元気な姿をたくさん届けるようにしていきますので、楽しみにしててください。

(文責：小林)